

「明日の農山漁村を担う女性」表彰の受賞者の概要

	氏名	県名	分野	取組概要
農林水産大臣賞	おいかわ くにえ 及川 久仁江	岩手県	農業	<p>30代の女性農業者などで「わがママ倶楽部」を設立し、初代代表として活動の5年計画を樹立し、低農薬栽培の実施、産直ショップ設立等を着実に実現。</p> <p>自らの農業経営においても長期計画を立て、会員制農村民泊開業を実現。</p>
国井農林水産副大臣賞	おおだいら めぐみ 大平 恵美	青森県	農業	<p>農作物の栽培計画をはじめ、農作業、保管管理に中心となって取り組み、夫は納税申告等の事務を担当。</p> <p>調理用トマトやフルーツトマトを地域に先駆けて栽培開始。現在では、地域全体の取組に発展しているほか、地元産のソバ粉とエゴマを材料としてかりんとうを開発し、産直施設の人気商品となる。</p>
山本農林水産副大臣賞	おの なな 小野 奈々	愛媛県	農業	<p>就農する際に、自分名義で就農支援資金を借り入れ、夏秋トマトの栽培を開始し、収量、品質とも地域トップクラスとなっている。</p> <p>柑橘専業農家の後継者と結婚したが、これまで培った作物を極めるため、夫婦で経営を分業し、トマト栽培を継続。</p>
福井農林水産大臣政務官賞	さいとう いつこ 齋藤 イツ子	埼玉県	農業	<p>果樹複合経営をしていた実家に後継者がいなかったため、就農を決意。現在は、梨部門を担当。</p> <p>「全国農業青年クラブ連絡協議会」の理事となった際、女子部会の設置を提案し、設立に結びつける。</p>
永岡農林水産大臣政務官賞	たけした あつこ 竹下 敦子	長崎県	水産業	<p>「エタリの塩辛」を地域特産品として確立させることにより、橘湾のカタクチイワシの付加価値を高め、地域の水産業等の発展に貢献できるよう活動を実践。</p> <p>その結果、エタリの塩辛はスローフード協会等の世界的な評価を受け、その更なる普及と伝承を行うため「エタリの塩辛愛好会」を発足。</p>